

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業

事業趣旨

京都駅周辺エリアを府域への玄関口として、京都駅において、府域の万博関連イベント等の情報を集約・案内することでスムーズに府域のイベント等に誘客するとともに、各エリアにおいて、京都の文化や芸術に親しみ多様なイベントを実施する。

資料3-2-①

| 2025年 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|

京都駅エリア

4/17
オープン

京都の万博情報発信拠点「EKIsport KYOTO」・京都駅内に万博関連イベント等の情報発信拠点を設置（4月17日～10月19日）

場所：JR京都駅2階南北自由通路北側 情報発信拠点営業時間：8:30～19:00

魅力発信ブースにおいて、市町村の地産品販売や観光プロモーション、伝統文化体験等を実施

・情報発信拠点に隣接するスペースを活用した府内各地の様々な魅力の発信（万博期間中に定期的に実施）



情報発信拠点



魅力発信ブース



アーティストJRによる京都市民500人の巨大写真壁画 ●4月11日～万博期間中●京都の街を構成する市民500名の全身写真を撮影し、制作した写真絵巻を駅ビル壁面に掲出

京都周遊アコースティックフェス
●4月26日～29日

講談とアコーディオンで綴る「音楽物語『京都博覧会』」●5月5日(月・祝)

京都駅周辺商店街と連携した街バル ●8月
まなぶんがin京都駅ビル ●8月中旬

京都駅ビル芸術祭 ●10月

未来のアーティスト応援プロジェクト ●8月除く各月 ●市立芸術大学の音楽学部の在校生が月替わりに登場

FOOF TRUCK PARK in KYOTO STATION ●3月22日～10月31日 ●地域の食材を活用したキッチンカーを配置し、京都府全体の食文化発信を実施

MIC PROJECT ●各月2回程度（毎週金曜日） ●希望アーティストによる駅前広場でのストリートライブ



梅小路エリア

京都・梅小路デジタルスタンプラリー ●3月1日(土)～6月1日(日)

京都まるごと博覧会 ～「まるごと京都」各地の魅力を ご紹介！～

- 4月4日(金)～8日(火)
- 「もうひとつの京都」ラッピングトレイン・バスの展示のほか、万博を契機とした府内周遊を促すため、万博期間中の府内各地のイベントや観光情報を紹介するブースを設置

梅小路公園開園30周年記念事業 ●4月～10月 ●30年の歩みの振り返りや「自然共生サイト」認定を記念した事業を実施。

●京都食肉市場まつり ●5月11日

企画展「1970年 あの頃の交通展」

- 5月17日(土)～7月13日(日)
- 万博と鉄道をテーマとする企画展を実施

UMEKOUJI MEETINGS

- 時期調整中
- クリエイティブタウンとしてのエリアのブランディングの発展を目指す、京都を拠点とするクリエイターによるアート作品展示と交流イベント



→ herstories-女性の視点でたどる美術史 ●3月20日～5月25日

市立芸術
エリア

下京・南まちなかアート

●3月1日(土)～20日(木・祝)
●地域の方や学生等が創作したアート作品を介して、日常の中に、新たな出会いや多様な方との交流を生むとともに、区内各所に展示した作品を巡る中で、地域の魅力を再発見、再認識できる取組



大学ミュージアム魅力再発見

●「大学は宝箱！京都・大学ミュージアム連携のコレクション展」をテーマに、府内大学のミュージアム等が万博開催記念の展覧会を開催するとともに、展覧会の一体的な情報発信やスタンプラリー等を実施



パブリックスペースでの若手芸術家作品展示
●10/4～11/3 (予定)

文化関連施設等の企画
●10/4～11/3 (予定)

駅北エリア

→ 京の夏の旅における非公開文化財の公開 ●7月～9月予定

境内門前での芸術作品の展示

●5～10月予定
●京都工芸美術作家協会、京都日本画家協会、京都いけばな協会、京都現代写真作家展実行委員会による、作品展示、ワークショップ、コラボ事業の実施

市民緑地におけるにぎわいづくり

●5月～10月

下京・京都駅前サマーフェスタ ●8月中 (予定)



きょうとまるごとお茶の博覧会

〔京都府：文化生活部文化政策室、農林水産部農産課、広域振興局(総合政策環境部地域政策室)〕
 〔京都市：文化市民局文化芸術企画課、産業観光局産業企画室〕
 〔関係機関：茶道各流派、全日本煎茶道連盟、北野天満宮、京都府茶業会議所、京都府菓子工業組合 など〕

【コンセプト・趣旨】

京都の茶文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から、茶器や茶道具、茶菓子の職人までが一緒になって、万博を契機に京都を訪れる人々に京都の茶文化を発信

【取組の方向性・期待する効果】

開催期間を通じて府内各地でお茶に関する様々な事業を展開することで、万博に来られる国内外の方々等にお茶の文化を知ってもらい、世界に発信する取組とする

R6('24)秋

R7('25)春

R7('25)春～秋

R7('25)秋

万博会期後

地域の茶文化発信

きょうとまるごとお茶の博覧会

プレ・オープニング

万博開幕まで半年のタイミングで開催

◆京都市 令和6年11月10日(日)
@北野天満宮

- セレモニー
- 祝舞、和太鼓
- 曲水の宴
- 抹茶体験
- 煎茶試飲・販売



◆中丹 令和6年11月23日(土)
@あやべ・日東精工アリーナ

- お茶の淹れ方体験
- 小学生の茶学習発表
- 抹茶石臼体験
- お茶スイーツ販売



きょうとまるごとお茶の博覧会

オープニング

万博開幕に合わせて開催

- ◆北野天満宮
4月1日(火)、4月15日(火)
- ◆東本願寺 お東さん広場
4月4日(金)～5日(土)
- ◆元離宮二条城 清流園
4月9日(水)

他、全11会場
京都府のゲートウェイとなる京都市域で、府民や万博などで訪れる観光客が参加できる茶会等を開催



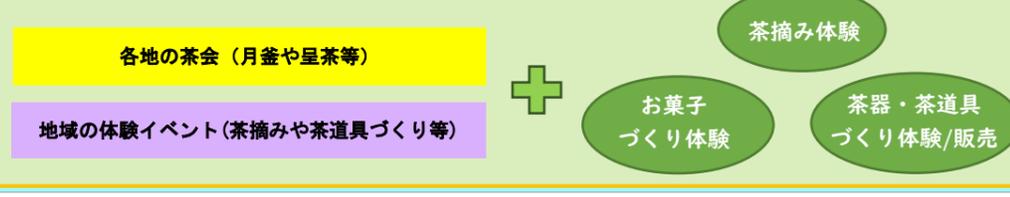
周遊 府内各地で特色あるお茶の取組を巡る 令和7年4月～9月

民間団体や市町村等が実施する各地のお茶をテーマとした取組を「きょうとまるごとお茶の博覧会」の連携事業として一体的に発信し、オール京都のお茶の博覧会として展開する

(取組例(予定)) ※この他にもさまざまな取組を実施

- ◆京都丹後鉄道 丹後くろまつ号車内での舞鶴抹茶を使ったスイーツコース(4月～9月)
- ◆宇治茶の魅力を感じてもらうための生産者による「茶園見学」や「茶摘み体験」(4月～)
- ◆宇治茶づくしのイベント「宇治新茶 八十八夜茶摘みの集い・茶業研究所施設公開」(5月1日(木))
- ◆京都サンガF.C.のホームゲーム時に合わせた、かめきたサンガ広場でのお茶を楽しむイベント(5月11日(日))
- ◆京都学・歴史館での茶室をテーマとしたシンポジウム(7月13日(日))やお茶の歴史展示(9月～)
- ◆お茶に関する体験やワークショップなどを通じてお茶の魅力を味わう「中丹 OCHA EXPO」(7月19日(土))
- ◆国内外から観光客が集まる会場で玉露の試飲・販売等を実施する「宇治茶販売マルシェ」(8月)
- ◆舞鶴から北海道小樽を航行する新日本海フェリー船内でのお茶体験(8月～9月)
- ◆パティシエ豊かなリーフ茶を味わう体験や手揉みによる製茶体験(9月)
- ◆地域の茶文化を支える人々が協力し、お茶に関する多様な体験機会を創出する「やましろ茶会」(9月21日(日))

【各地で開催される茶会(月釜や呈茶会等)と連携した取組】



きょうとまるごとお茶の博覧会

北野大茶会(グランドフィナーレ)

万博閉幕に合わせて「北野大茶湯」ゆかりの地で大茶会を開催

令和7年10月11日(土)～13日(月・祝)
@北野天満宮

- 府内各地で行われてきたお茶に関する様々な取組が集結
- 抹茶、煎茶、玉露など様々な種類のお茶を味わうことができる
- 茶道・煎茶道各流派が日替わりで呈茶会を実施
- 往時の「北野大茶湯」や茶道の歴史を紐解く企画展示



※天正15年(1587年)10月に豊臣秀吉が北野天満宮にて開催。身分にこだわらず広く参加が呼び掛けられた。明治19年と昭和11年にも300年、350年を記念して盛大な茶会が開かれている。

- 児童・生徒らが万博参加国と茶会を通じて国際交流した成果を展示・再現することで、来場者にその国の文化を知るだけでなく、生徒たちが工夫を凝らして作り上げた茶会を楽しんでもらう

- 学生たちが企画検討から取り組んできた各プロジェクトを会場にて披露することで、自由な発想から生まれる新たな茶文化を来場者に感じてもらう
(例) 開発した商品の紹介・販売 実施した企画イベントの再現 等

未来に向けた茶文化発信

京都の茶文化を支える様々な人々が、「万博後に継続していくべきもの」や「未来社会の茶のデザイン」等、後世に継承していくために必要なことを議論・検討・継続していく

(例) ベテランから若手の生産者が語り合うシンポジウム等の開催

宇治茶の世界文化遺産登録を目指して、有識者が各産地の歴史的魅力を語る講演等

国際茶会

「茶会」を知る研修会 令和7年1月～3月

- 小中高校等の教員らを対象に「茶会」を知り、体験する研修会を開催
- 小中高生が実施する「参加国の特徴や万博らしさを取り入れた茶会」を通じた国際交流に向けて、おもてなしの方法や工夫を学ぶとともに、茶会を通じて「相手を大切に思う心」への理解を深める



●参加人数：
府内教職員等 約50名

交流 「茶会」を通じて世界と繋がる 令和7年4月～9月

- 府内の小中高・支援学校の児童・生徒らが万博参加国の生活や文化などを学び、「参加国の特徴や万博らしさを取り入れた茶会」を開催
- 異なる文化を理解し、尊重する心を育むとともに、学校と万博参加国が、万博以降も続く友好関係を築くきっかけにつなげる
- 参加予定校：府内小・中・高・支援学校 20校程度



学生プロジェクト

創造 学生が考える「茶」をテーマとしたプロジェクト 令和6年12月～令和7年9月

【企画・検討】

- 京都の大学生らが学生ならではの自由な発想でアイデアを出し合い、お茶をテーマとした様々な取組を企画



- 参加校：8大学(約50名) ※R7.2末時点
 - 5企画程度に絞り込み、ブラッシュアップ(企画案の一例) ※R7.2末時点
- 百貨店と連携した「7種の茶を使ったジェラート」の開発
万博参加国出身の留学生と一緒に「世界の喫茶文化体験イベント」の開催

【実施】

- 学生たちが自ら考えた企画の実現に向けて、連携先団体との調整や広報発信、イベントの開催等を実施することで、学生が京都の茶文化を学びながら、主体的にお茶を通じて日本の文化・心を伝えられる場を創出
- 大学コンソーシアム京都の「単位互換/京カレッジ講座」にも位置付け

学生発の新たな茶文化

本事業をきっかけに生まれた学生発の新たなお茶の取組が、新たな手法を取り入れながら、今後も継続・発展していくように、学生による仕組み作りを行っていく

広報

【ウェブサイト】府内各地で実施される茶会やお茶をテーマとした取組を集約し、一体的に発信

【学生による発信】府内のお茶に関する様々な取組や、茶の生産、茶道等に関わる人・事柄について、次代を担う学生たちが取材し、学び・知りながら、SNSやウェブサイトを通じて発信

【デジタルスタンプラリー】府内各地のお茶イベント等をつなぐ取組として実施 (R7.4～R7.11)



趣旨

万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のもと、京都1200年の歴史の中で培われた文化と多様な自然（いのち）の共存・調和による地球環境保全のレガシーについて、未来を担う新たな世代の探究を通じて、地球環境問題の根源は人間の文化の問題であることを再認識し、「環境日本学」を通じた人と地球の未来のあるべき姿を世界に発信

国際会議

2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題について、京都議定書発効20周年を記念し、過去の殿堂入り者と若者等が「気候変動」や「生物・文化多様性」のテーマで議論を行い、総括として「未来への提言」を行う

- 日程：令和7年9月20日（土）
- 場所：国立京都国際会館
- 参加者：過去の殿堂入り者、有識者、高校生、大学生（海外含む）

プログラム

開会セレモニー：伝統文化・芸能パフォーマンス

基調講演：山極 壽一氏

未来会議ワークショップの活動報告：
KYOTO地球環境の殿堂「未来会議」における探究の成果発表

パネルディスカッション：殿堂入り者・学生等で地球環境問題に関してディスカッション

未来への提言：人と地球の未来のあるべき姿について提言



総合地球環境学研究所
HPより引用



※環境日本学：日本独自の人間文化と自然の共存・調和による未来可能性を探究するもの

未来会議

国内外の高校生・大学生が、京都1200年の歴史の中で守り、共存してきた自然環境と京都文化との関係について、ワークショップを通じて探究する

◆キックオフイベント

万博会場
(夢洲)

万博「EXPO KYOTO Meeting」(R7.4.23)

- ・殿堂入り者や学生等が参加してキックオフ宣言・未来会議PR
- ・殿堂関連のアイテム等の展示



京都市内

オリエンテーション (R7.5.18)

環境問題や「KYOTO地球環境の殿堂」の解説、未来会議PT(高校生・大学生)の編成等を実施



総合地球環境学研究所
HPより引用

◆ワークショップ 環境日本学に関連した3つのワークショップを実施(各3日間)

文化と自然の調和が織りなす日本独自の古来文学(随筆など)、伝統産業(漆など)、森里海を切り口に自然環境の重要性を確認

「古来文学(随筆)」探究プロジェクト



出典：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>) を元で作成

- 1日目 6月21日
場所：府立京都学・歴史館、府立植物園
古来文学(随筆・和歌等)において、動植物がどのように描かれ、筆者等が触れ合い、感じているのかなどを学び、和歌作りを行う。
- 2日目 8月2日
場所：嵯峨嵐山(桂川河川敷)、京都御所、京都迎賓館等
動植物の生息地での観察や、文学ゆかりの京都御所等の見学、また動植物にちなんだ和菓子作りを行う。

「伝統産業」探究プロジェクト



- 1日目 6月22日
場所：堤浅吉漆店(下京区)
明治42年創業にして「サーフボード×漆」等新しい試みに乗り出す老舗漆店の工房見学、ふき漆体験を行う。
- 2日目 8月3日
場所：合併記念の森(右京区京北)
伝統産業の原材料産出地に赴き、日本のものづくりを支えてきた産地の現状や自然と人間との関係性(生態系)について考察する。

「森里海」探究プロジェクト



- 1日目 6月8日
場所：ハビロー!の森 京都(南丹市)、保津川(亀岡市)
雑木伐採などの森林づくり体験や森林学習、また保津川でゴムボートに乗船して環境活動を行う。
- 2日目 8月18日、19日
場所：府海洋センター、栗田漁港(宮津市)等
漁業の講義や研究施設(府海洋センター等)の見学を行うとともに、漁船に乗船し、定置網漁業体験を行う。

○3日目 8月23日(共通)京都市内 各プロジェクトの参加者が集まり、それぞれが得た学びを共有してとりまとめるとともに、地球のあるべき姿についての提言を考える。

スタートアップイベント

〔京都府：商工労働観光部産業振興課〕
〔京都市：産業観光局産業イノベーション推進室〕
〔企業：株式会社Headline Japan〕

資料3-2-⑤

趣旨

大阪・関西万博の開催と合わせた日本最大級の国際スタートアップ・カンファレンスの開催等により、国内外の起業家や支援者を京阪神に呼び込み、多様な交流を促進。

レガシー

10年、20年後の世界を変える企業・研究（ディープテック）・人材（次世代イノベーター）を輩出



(IVS2025)

国内外の起業家・投資家等が一堂に会し、直接交渉による投資・協業先・人材等の獲得や、各分野の最新動向の把握と多様な人材の交流を契機とした新ビジネス創出を促進。

日程：2025年7月2日(水)・3日(木)・4日(金)
会場：みやこめっせ、ロームシアター京都

新 目的別の交流を促進し「実利」を生み出すゾーン設定

- ✓ 成長ステージ別エリア分けに加え、世界が注目するテーマを掲げた**事業領域別**エリア（ディープテック、AI、エンターテインメントを予定）や、**国・地域**ごとに出展いただくエリアを新設
- ✓ 「ディープテック」エリアは、未来へのレガシーとして、研究開発に時間を要する一方、社会課題を抜本的に解決する可能性のある有望シーズを国内外から集め、発表
- ✓ スタートアップ企業が軒を連ねる「スタートアップマーケット」の開催、個別商談に活用いただける予約制の「ミーティングルーム」の拡充等により、ビジネスマッチングやネットワーキングを促進

新

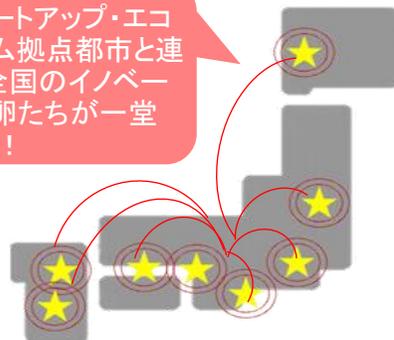
IVS Youth 10年後20年後を担う子どもたちに、自らがイノベーターとなって未来を切り拓いていくための学びや体験、ともに挑戦する仲間が得られる機会を提供し、未来の起業家を輩出。

日程：2025年7月5日(土)
会場：京信QUESTION

3つの階層に分類し、目的別にあった支援を提供

- 興味関心がない・知らない層 → 「起業家」という職業やイノベーションの意義を知る機会を提供
- 興味はあるが行動できない層 → 「ロールモデル」や「実際に行動に移せる機会」を提供
- 活動しているが継続が困難な層 → 「ともに切磋琢磨する仲間や支援者」を得られる機会を提供

各スタートアップ・エコシステム拠点都市と連携し、全国のイノベーターの卵たちが一堂に集結！



プログラムのイメージ

キーノートセッション

子どもたちの関心を惹きつける著名な経営者やグローバルで活躍する若手起業家によるトーク

チャレンジピッチ

全国各地の子どもたちが、アントレプレナーシッププログラムなどを通してチャレンジした内容を発表

グローバルビジネスコンテスト

海外志向を持った子どもたちが、ビジネスアイデアを英語でピッチ

ネットワーキング

会場に集まった小中高生が、起業家や投資家、同世代の仲間を見つけるための交流促進企画

等



【コンセプト・趣旨】

けいはんな学研都市の高い研究開発力と豊かな歴史文化資源を最大限に発揮した様々なコンテンツで、未来社会に向けたポテンシャルを世界に向けて発信

【取組の方向性】

都市内外から多様な共創者の集積、それらの技術やアイデアの実証・実装を図り、世界の課題解決を担う次世代産業拠点、世界の人々を惹きつける文化拠点への礎を築く

R7('25) 4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

4つのテーマ

開会式

大阪・関西万博の開幕に合わせて開催
4/13
@けいはんなプラザ

- 3府県はじめ関係者が一堂に会し、開幕を宣言
オリジナル曲や次代を担う子供たちのメッセージ発表など



ロボット&アバター・ICT

5月他

- ロボット・アバター ICTフェス 5/24・25
@精華大通り(けいはんなプラザ~KICK)
- アバターチャレンジ
 - アバターパレード
 - ロボット競技会等
 - 次世代モビリティの社会実装モデルの披露



ウェルビーイング

6月他

- ウェルビーイングフェス 6/13~15
@けいはんなプラザ
- 健康・食・環境の最新技術の展示や、未来の食や健康診断の体験会等
 - 千玄室氏(前家元)の講演
 - 古代都食のシンポジウム 9月



スタートアップ

7月他

- スタートアップフェス 7/25
@けいはんなプラザ
- 実証ショーケース
 - ピッチ会
 - 交流会 等
- グローバルスタートアップフェス 10/2・3 @KICK



サイエンス&アート

10月他

- サイエンス&アートフェス 9/27~10/13
@精華・西木津地区ほか
- 木津川アート万博ver 9/27~10/13
 - けいはんなリアルサイエンスペディア 10/2,3
 - 京都スマートシティエキスポ、フードテックエキスポ 10/2,3 @KICK
 - けいはんなR&Dフェア 10/4 @けいはんなプラザ

閉会式

大阪・関西万博の閉幕に合わせて開催
10/11
@けいはんなプラザ

- 万博後に向けた、「けいはんな宣言」を発表
けいはんな万博を振り返るダイジェスト動画の上映等

交流

オープンラボ・テックツアー

5・6・8・10月 @けいはんな、相楽東部 等
● 各テーマイベントに来場する国内外の企業・研究者、府民等にけいはんな立地研究施設等を公開(8月は子ども向けに開催)



京都国際学生サミット

7/31~8/4 @けいはんなプラザ
● 京都と海外の学生が、議論やワークショップを通じて交流を深めながら、京都の魅力を体験

国際

国際会議の開催

期間中 @KICK、けいはんなプラザ 等
● 「地球環境ユースサミット」8/4~6、「国際賢人会議」10月など
● エキスポ等への国際ブースの誘致(スペイン、フランス等)10/2,3

賑わい

けいはんなみゅーじあむ

4/19~6/29
@けいはんな記念公園
● 京都の伝統文化工芸の展示会を開催



古典芸能公演(狂言)会

5/5 @けいはんなプラザ
● 小学生との共演
人間国宝・茂山七五三出演



Meta CHA (メタバース茶会)

5/31~6/22までの土日
@けいはんなプラザ
● メタバース空間でのお茶席
富士山頂での野点を体験



ドローンショー

10/4@けいはんな記念公園
● ドローンを活用した夜空を彩る光の演出で、新たな賑わいを創出



EXPO KYOTO MEETING ツアー

4/24 @福寿園、和東町他
● 夢洲でのKYOTO MEETINGのサイドイベントとしてツアーを実施。学研地域でお茶などおもてなし、PR

ツアーオブジャパン・京都ステージ

5/19 @プラザ~普賢寺
● 全国からサイクリストが参加
飲食・スポーツの露店も出店(4月にもサイクルレースあり)



けいはんなコンテナ・フェス

5・6・7・10月
@けいはんな各所
● 路面コンテナでのポップアップ
飲食店・ショップ 等



せいか祭

10/12 @けいはんな記念公園
● けいはんな万博に合わせて10月に開催
地域と一体となった賑わいを創出

発信(夢洲)

@関西パビリオン(多目的エリア)
5/1
● けいはんな万博サテライトセッション



@関西パビリオン(京都ブース)
7/28~8/3
● ロボット・アバターやウェルビーイングのブース展示 など



@大阪ヘルスケアパビリオン
4/23、4/30、9/19、9/30
● けいはんなの技術を体験できるブース、ワークショップ、クイズラリー
● ウェルビーイング、スタートアップの展示 など



Music Fusion in Kyoto 音楽祭

〔京都府：文化生活部文化政策室〕
 〔京都市：文化市民局文化芸術企画課〕
 〔市町村：綾部市、宇治市、亀岡市、京丹後市、井手町、与謝野町 ほか〕
 〔企業等：京都府警察音楽隊、京都未来芸術アカデミー、ソニー音楽財団 ほか〕

資料3-2-⑧

コンセプト
・
趣旨

- 京都最大の音楽の祭典
- 音楽が日常にあり、色とりどりの音が融合し、京都中を彩る

効果など

- 音楽を通じて世代を超えた人と人の繋がりが育まれる
- 全国に先駆けた音楽による地方創生モデル
(京都モデル) を創出

鑑賞

<世代を超えて音楽を楽しむ機会の創出>

- ・ **クラシックコンサート (府主催・共催)**
開催地の市町村と連携し、良質な音楽とともに、地域に根差す文化の魅力も発信
▷ オケストラコンサート (2会場)
京都ゆかりの音楽家を中心に編成した特別なフェスティバル・オケストラを結成
- ▷ 室内楽コンサート (4~6会場)
府内各地域の身近な文化資源を会場とし、市町村とともに作り上げるコンサート
- ・ **京都 秋の音楽祭 (京都市主催)**

体験

<こどもの頃から音楽に親しむ機会創出、休眠層の掘り起こし等>

- ・ **奏プログラム (府主催)**
こどもたちに向けた鑑賞・体験型の教育プログラム
▷ 音楽家による演奏、指導 (5会場)
- オケストラ公開リハーサル招待
- 学校訪問による特別な演奏会 など
- ▷ 楽器体験 (5会場)
- ▷ 音楽家や音楽学校の生徒との交流 (2会場)
- ・ **京都府警察音楽隊との合奏**
- ・ **京都堀川音楽高等学校生徒との音楽による交流**

育成

<音楽等の活動に励むこどもたちの育成>

- ・ **京都未来芸術祭 (府共催)**
吹奏楽、合唱、ダンスなど多彩な舞台芸術に励む小中高校生のステージ及び交流
▷ 北部地域と京都市内の児童、生徒が交流する特別なステージを開催
- ▷ 民間企業と連携し、遠隔でも指導を受けられる練習プログラムを導入
- ・ **親子向けコンサート (民間企業と連携)**
0歳から楽しみ、学べるクラシックコンサート



その他市町村や民間団体等が実施する音楽事業等、府内各地の取組を一体的に発信

京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）は、

- 若年層をはじめとした観光客の掘り起こし
- コンテンツを活用した新産業創出
- クリエイター育成・雇用創出
- コンテンツ都市としてのブランド向上

など、京都を中心とした関西圏の**コンテンツ産業振興を目的として2012年よりスタートした総合見本市**です。

見本市に加え、伝統産業とマンガ・アニメ・ゲーム等とのコラボ商品の開発・販売等によるビジネスマッチング機会の創出、クリエイター支援等を実施しています。

2025年は府市連携でプロモーション等に取り組んでまいります。

主な取組予定 ※京まふ2024を元にした予定。

4月 「京まふ2025」開催発表

6月 マンガ・アニメの国際コンテスト
「京都国際クリエイターズアワード」募集開始

9月 「京まふ2025」開催 ※受賞発表は10月予定

- ・企業×アニメの取組を評価する日本唯一のアワード「アニものづくりアワード」の開催
- ・出展者と京都市内企業等とのコラボ支援
- ・出展者向けのきもの等の和装斡旋の取組
- ・コンテンツ×伝統産業のワークショップの開催
- ・京都国際マンガミュージアムでの特別企画展示
- ・京都府や出展企業等によるサイドイベント開催

and more...

11月 マンガ家志望者と出版社とのマッチングイベント
「マンガ出張編集部」開催

3月 クリエイター志望者と市内企業とのマッチングイベント
「京都クリエイティブ企業キャリアフォーラム」開催



京都レストランスペシャル

- ・万博開催を記念して、毎年冬に開催している風物詩イベントを5月～7月に特別開催！！
- ・京都を代表する料亭やレストラン、ホテル等が、限定メニューを特別価格で提供！！

万博開催期間中に、京都を訪れる国内外の観光客の方はもちろん、地元京都の方にも、京料理をはじめとした「京の食文化」の体験を通じ、多彩な「食の京都」の魅力を感じていただくとともに、京都の食材や伝統工芸など、京都の文化や伝統を感じられるイベントです。

取組予定

- 4月 「京都レストランスペシャル」 詳細発表
- 5月 「京都レストランスペシャル」 開催

◆ポイント◆

- ◎特別企画として、**参加店舗エリアを京都市内**のほか、新たに**京都府域へと拡大**し、京都府全域でお楽しみいただけるようになります。
- ◎本イベントを契機に、京都の**多様なエリアの魅力を発信**する「とっておきの京都」や「もうひとつの京都」での**周遊観光を推進**し、地域の活性化を図ります。
- ◎参加店舗では、京都産の食材を使った料理や、伝統工芸で設えた器やお部屋での食事など、**食を通じた京都の伝統や文化を感じられる特別メニューを提供**します。

7月

